

ビーコンスタンド

取付と接続

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

nav-u

NVA-BS6

©2007 Sony Corporation Printed in Thailand

主な特長

VICS対応ビーコンユニットNVA-VB6(別売り)を“nav-u”と接続するためのビーコンスタンドです。

“nav-u”の対象機種については、下記のホームページやカタログをご確認ください。

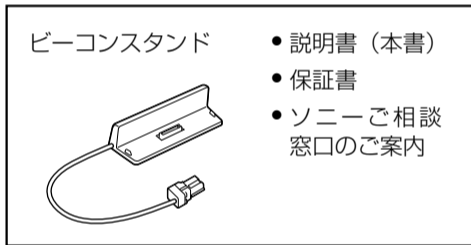
<http://www.sony.co.jp/nav-u/>

ちょっと一言

機能の確認は、実際に道路を走行して、電波ビーコンまたは光ビーコンを受信して行ってください。

- “nav-u”および**nav-u**は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「VICS」は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

中身を確認する



- 説明書（本書）
- 保証書
- ソニーご相談窓口のご案内

困ったときは

“nav-u”関連のホームページ（下記 URL）でお調べください。最新サポート情報や「よくあるお問い合わせ（Q&A）」などを掲載しています。

<http://www.sony.co.jp/nav-u/>

お問い合わせの前に

機種名をご確認ください。機種名は、スタンド正面に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「307」+「#」

を押してください。

直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

主な仕様

使用温度範囲	5℃～45℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約96×26×35 mm、 コード長：約30 cm
質量	約35g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

お手入れのしかた

ビーコンスタンドの汚れを清掃するときは、やわらかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めてから柔らかい布に含ませ、固くしぼってから拭いてください。

ご注意

ベンジン・シンナー、アルコール類、ワックス、みがき粉、粉石鹸、石油、熱湯は使用しないでください。また、接着剤、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。変色、変形するおそれがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

本書およびお使いの“nav-u”に付属の説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

警告 安全のために

警告表示の意味

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

正しく取り付ける

本書の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示

法令に従って前方の視界を妨げる場所に 取り付けない

前方の視野の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



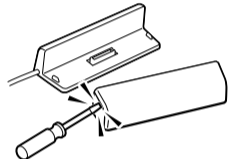
禁止

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



取り付け

本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。特に前方視界、運転、エアバックなどの妨げにならないようご注意ください。

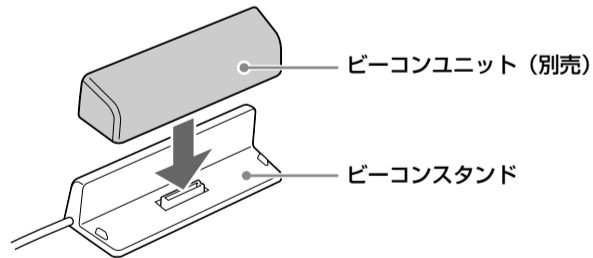
ご注意

本機は、ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機など強い電波を出したり、受信する機器から離れた場所に取り付けてください。これらの機器の近くで本機を使うと、以下のようなことが起きることがあります。

- －本機が正常に動作しないことがあります。
- －“nav-u”本体の画像が乱れることがあります。
- －“nav-u”本体で自転車位置を正しく表示できないことがあります。
- －ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機などが正常に動作しないことがあります。

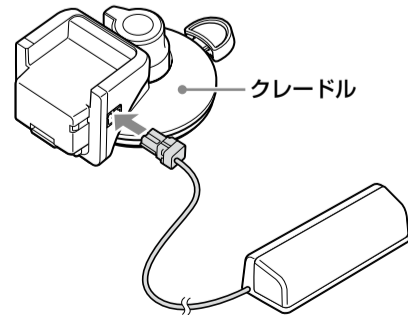
1 別売のビーコンユニット(NVA-VB6)をビーコンスタンドに取り付ける。

確実に取り付けてください。



2 “nav-u”のクレードルに接続する。

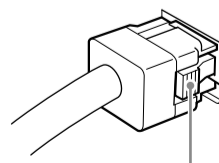
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。



ちょっと一言

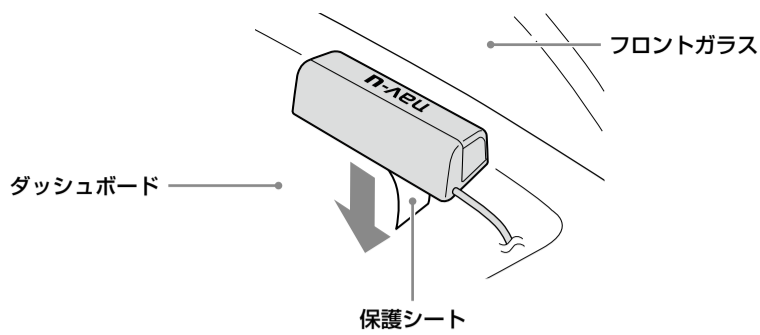
お使いの機種によって、クレードルの形状は異なります。VICS接続ケーブルをクレードルのビーコン端子に接続してください。

コネクタの着脱のしかた

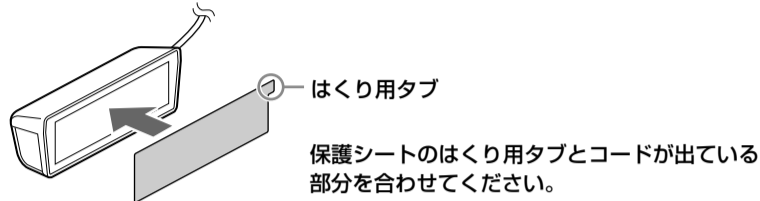


カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながら引く。

3 手順 1 で組み合わせたものをダッシュボードに固定する。



- 取り付け場所をきれいにしてからビーコンスタンド底面の粘着シートをダッシュボードにしっかり固定してください。
- ダッシュボードからビーコンスタンドをはずしたときは、必ず保護シートで粘着面を覆ってください。粘着面が汚れると粘着力が弱くなることがあります。また、保護シートには表面と裏面があります。下図のとおり正しく取り付けてください。



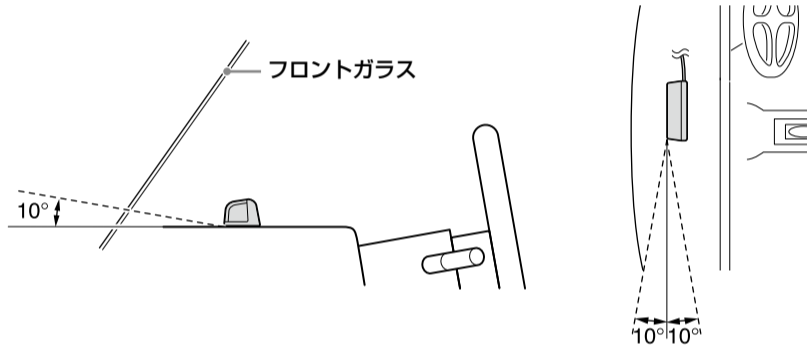
- 保護シートの表面と裏面を間違えると、はがしにくくなったり、粘着シートの粘着面を傷めて粘着力が弱くなることがあります。
- 粘着面が汚れた場合は、柔らかくて毛羽立たない布を湿らせ、なでるようにして、汚れを取り除いてください。
 - 取り付ける前に、粘着面が乾いていることを確認してください。

ご注意

保護シートを誤って飲み込まないよう、子どもの手の届く場所に置かないでください。

取り付け場所についてのご注意

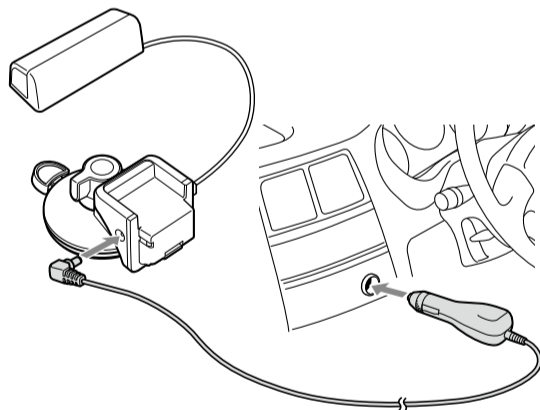
- フロントガラスに近い、凸凹のない、水平な場所を選んでください。
- 正しい向きに取り付けられていることを確認してください。正しい向きに取り付けないと、送受信できない場合があります。



ご注意

- 雨や雪などの影響で、送受信感度が低下する場合があります。フロントガラスのワイパーが届く部分で、電波が遮られない場所に取り付けてください。
- エアバックの動作の妨げになる場所には取り付けしないでください。

4 シガー電源コードを接続する。



重要なお注意

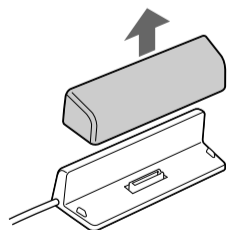
シガー電源コードを接続しない場合、VICS ビーコンユニットは動作しません。
"nav-u" 本体はシガー電源コードを接続しなくても内蔵バッテリーで動作しますが、VICS ビーコンユニットを使用する場合は、必ず車から電源を供給してください。

ちょっと一言

お使いの機種によって、クレードルやシガー電源コードの形状は異なります。

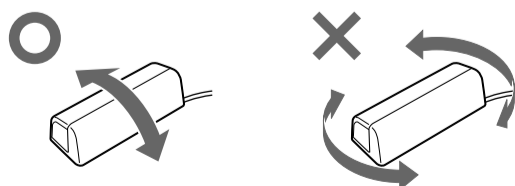
取りはずしかた

ビーコンユニットをビーコンスタンドから取りはずす上に引っ張ってははずします。



ビーコンスタンドをダッシュボードから取りはずす

前または後ろにゆっくり傾けてはがします。



ご注意

- 水平方向に回してはがさないでください。粘着シートの粘着面を傷めて粘着力が弱くなることがあります。
- ビーコンスタンドをダッシュボードからはずすときには、コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

使用後は、直射日光の当たらない場所に保管してください。取り付けのまま放置すると、故障の原因となることがあります。

VICS 情報の受信についてのご注意

1) ビーコンユニットを接続したが、VICS 情報を受信しない。

- シガー電源コードがクレードルに確実に接続されていることを確認してください。クレードルにシガー電源コードが接続されていない場合、ビーコンユニットに電源が供給されないため、ビーコンユニットの機能を使用できません。
- VICS 情報は、ビーコンの下を通過したときのみ受信されます。ビーコンのない場所では、VICS 情報は更新されません。

2) ビーコンの下を通過しても VICS 情報を受信しない。渋滞情報が表示されない。

- ビーコンのメンテナンスなどにより、ビーコンの下を通過しても VICS 情報を受信できないことがあります。
- 渋滞が発生していない場合、VICS 情報を受信しても渋滞情報は表示されません。
- 渋滞情報の設定が「OFF」になっていると、渋滞情報を表示できません。メニューボタン → [編集・設定] タブ → 「設定」 → 「交通情報」 → 「交通情報地図表示」で渋滞情報の各設定を確認してください。
- ビーコンユニットは、ミラーなどビーコンからの電波や光をさえぎるものからできるだけ離し、フロントガラスの近くに取り付けてください。

3) 受信しないときがある。

- ビーコンユニットがビーコンスタンドに確実に取り付けられていることを確認してください。

- "nav-u" 本体底面のリセットボタンを押してから、もう一度電源を入れてください。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのフロントガラスには、電波を通さないものがあります。
- フロントガラスが汚れている。
- ビーコンユニットの前に電波や光をさえぎるものがある。
- ビーコンユニットの設置が、本書どおりになっていない。
- ビーコンが大型車両等の陰になっている。
- トンネルの中を走行している。(ビーコンが設置されていても受信できない場合があります。)
- 道幅の広い道路を走っている。

4) 他の VICS 情報を受信してしまう。

- 近くにビーコンのある道路を走行している。
- 対向車線にビーコンがある。

5) 渋滞を回避するリルート機能が働かない。

- 渋滞回避ルートの設定を確認してください。設定方法について詳しくは、お使いの "nav-u" に付属の「取扱説明書」または「取扱説明書 本編」をご覧ください。
- ビーコンユニットが正しい向きに取り付けられていることを確認してください。光ビーコンの情報を正しく送受信できないと、渋滞回避リルート機能は働きません。

緊急警報について

災害に関する緊急警報は、本来、法令に基づき、国または地方公共団体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものがこの緊急警報放送です。
VICS ビーコンユニットは、緊急警報を受信することができるようにしたのですが、災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。

従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取り扱いの誤りなどにより、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご使用ください。